

国際課税委員会（第24回）の概要

11月27日、経団連会館で、第24回の『国際課税委員会』が開催されました。テーマは、BIAC 会合出張報告・筑波大学大学院ビジネス科学研究科教授 青山慶二副委員長、移転価格税制と寄附金（仮題） ユナイテッド・パートナーズ会計事務所代表取締役 西村善朗委員、日本企業の海外子会社からの利益送金（仮題）一橋大学大学院経済学研究科教授 田近栄治副委員長から報告いただきました。報告の概要は次の通りです。（資料別添）

1、BIAC 会合出張報告 青山慶二副委員長（詳細は別添資料参照）

2008.10.30～31日、BIAC Tax Committee (TC)が開催され、日本側委員として出席した。OECD プロジェクトのアップデートとして、PE 帰属利得（7条改訂コメントリー、新7条の問題）、租税条約関連（新7条、無差別条項、集合的投資ビークル等がある。移転価格関連では、事業再編成との関連、比較可能性の問題、利益法が取り上げられた。（以下略）

2、移転価格税制と寄附金、西村善朗委員 資料別添

国内 TP と寄附金税制、つまり、措置法 66 の 4 、 22 条 と国外 TP : 措置法 66 の 4 とを体系的に整理する必要があるのではないかと考えている。

以下の議事録本文は会員用メールマガジンで配信いたします。